

家族性・遺伝性腫瘍の臨床と研究

1980年に大腸癌が集積する家系を経験して以来、癌の家族集積に興味を持ち丹念に家族歴を聴取することに心がけ、原因遺伝子が同定されるようになってからは、Lynch症候群、家族性大腸ポリポシス、HBOCをはじめとする家族性乳癌を中心に遺伝学的検査の研究と臨床応用を実践してきた。その37年の経験といくつかの成果、診療のポイントをお話する。

公益財団法人星総合病院 病院長

講師

野水 整 先生
(のみず ただし)

略歴

1953年 郡山市で出生、郡山第一中学校、安積高等学校卒業
1979年 信州大学医学部医学科卒業
同年 福島県立医科大学第2外科入局
1988年 星総合病院外科部長
1992年 福島県立医科大学第2外科非常勤講師
2002年 東北大学加齢医学研究所癌化学療法研究分野非常勤講師
2003年- 福島県立医科大学外科臨床教授
2014年- 星総合病院病院長

学会

1994年 家族性腫瘍研究会(現日本家族性腫瘍学会)設立に参加
1995年 第1回家族性腫瘍研究会学術集会主催(郡山市)
2012年 日本HBOCコンソーシアム設立に参加
1992年 家族性・遺伝性腫瘍に関する文科省・厚労省の研究に
～現在 多数参加(班員、班長協力者、他施設共同研究)

資格

医学博士、日本外科学会専門医・指導医、日本乳癌学会専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医、日本大腸肛門病学会専門医・指導医
日本家族性腫瘍学会専門医・指導医、日本臨床腫瘍学会暫定指導医



日時:平成30年5月1日(火)18時～19時

場所:福島県立医科大学11号館第2臨床講義室

司会:門馬智之先生(消化管外科学講座)

参加無料／事前登録不要

補足

- ◆ がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ及び、患者様、一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
- ◆ 本セミナーは、『東北次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。
- ◆ 本学大学院生は、大学院授業要綱で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します。
履修票を忘れずにお持ち下さい。

【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL:024-547-1095 E-MAIL:ganpro@fmu.ac.jp
【後援】臨床腫瘍センター(臨床腫瘍セミナー)